

(別紙5)

補助事業番号 26-1-112
補助事業名 平成26年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 東京フィルメックス実行委員会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年映画を取り巻く環境は均一化し、質的に乏しい状況に陥っていることに対し、創造性溢れるアジアの映画作家の作品を通じて育成を促進し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

アジア映画のコンペティション

創造性溢れるアジアの文化の多様性の一端が窺える新進作家による9作品を選定し、コンペティションで上映した。ベテランの作品や日本の古典も上映。創造者と受容者の双方に映画史再考の機会を提供した。また若者への取組みとして、学生審査員の立場で映画祭を体験させ、批評眼を養わせる機会を提供し、耳の不自由な方も一緒に映画を楽しめる機会として、古典日本映画の日本語字幕付き上映を行った。

		
最優秀賞、フランシス・X. パシオン監督 (中央)	ジャ・ジャンクー審査委員長による舞台挨拶。	審査員特別賞、アサフ・コルマン監督
		
受賞者と審査員	「扉の少女」ペ・ドゥナ	さよなら歌舞伎町、舞台挨拶

2 予想される事業実施効果

■ 上映作品その後の展開

・ 日本映画作品

コンペ上映作のうち「ダリー・マルサン」(高橋泉監督)が2月のベルリン国際映画祭へ発信される。また特集上映で取り上げた日本映画の旧作は春の欧州の国際映画祭へ発信予定。

・ 外国映画作品

映画祭上映直前には、特別招待作品「プレジデント」、コンペティション「扉の少女」の配給が決まるほか、コンペ受賞作等には映画祭での反応をみた映画事業者による問い合わせが相次いでいる。また「野火」「マップ・トゥ・ザ・スターズ」「One One One」「さよなら歌舞伎町」「ギフト」「真夜中の五分前」が映画祭終了後から平成27年度の公開が予定されている。

・ 過去の上映作品

また昨年上映の作品では、オープニングの特別招待作品であった「罪の手ざわり」(ジャ・ジャンクー監督)が昨年5月に公開されたが、昨年度のキネマ旬報ベストテンで外国映画作品第3位に輝いた。

■ (継続) 学生自治主体との協働、教育機関との連携

過去数年実施している、大学との連携を引き続き、実施した。

多摩美術大学による団体鑑賞を継続し、新規で日本映画大学よりインターン1名(広報担当)を受け入れたほか、亜細亜大学から会期中の会場整理のインターン8名を受け入れた。また学生によるサークル東京学生映画祭により「学生審査員賞」も継続した(「彼女のそばで」が受賞)。こうした連携を通じて、若い学生による主体的な映画や芸術、ひいては社会的な取組みへの参加を望んでいる。

■ (継続) バリアフリーの取組み

過去に貴会からはヒアリング等を通じて、また他のステークホルダーから本事業における「映画の社会的な取組み」についてご意見を踏まえ、平成23年開始した聴覚障がい者向けのバリアフリー上映を今年も実施した。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

対象経費使用無し

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

ポスター 200枚

チラシ 75,000枚

リーフレット 8,000部

朝日新聞11/21夕刊掲載 全2段広告

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人東京フィルムメックス実行委員会（トクテイヒエイ
リカツドウハウジントウキョウフィルムメックスジッコウイインカイ）

住 所： 107-0052

東京都港区赤坂5-4-14 トレード赤坂ビル3F

代 表 者： 理事長 森 昌行（リジチョウ モリ マサユキ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務局スタッフ 金谷 重朗（カナヤ シゲオ）

電 話 番 号： 03-3560-6393

F A X： 03-3586-0201

E - m a i l： canalla@filmex.net

U R L： <http://filmex.net/>